



アルミ手すりS型〔単体サッシ用〕

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲警告 …取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

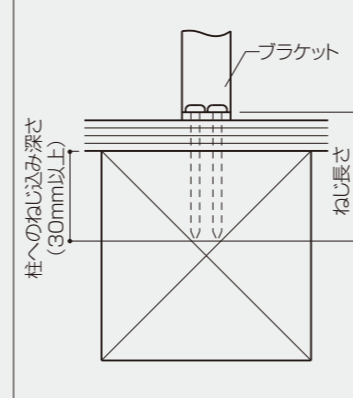
▲注意

●ねじ部からの漏水防止のため、躯体の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。

▲警告

- 手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。
- 1.当製品は、木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
 - 2.取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
 - 3.ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取り付けてください。柱のない部分には取り付けないでください。
 - 4.柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
 - 5.壁厚が30mm以上の場合には、厚壁用のねじを使用してください。
 - 6.強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を、指定の数量使用してください。
 - 7.外壁のバカ穴は、柱まであけないでください。
 - 8.手すりについたり足をかけたりしないでください。また、重いものをのせないでください。
 - 9.サイドガードは必ず取り付けてください。
 - 10.躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ5のねじにはφ3.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
 - 11.手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。

■柱へのねじ込み深さ



■部品一覧表

※取付けの前に部品の確認をしてください。

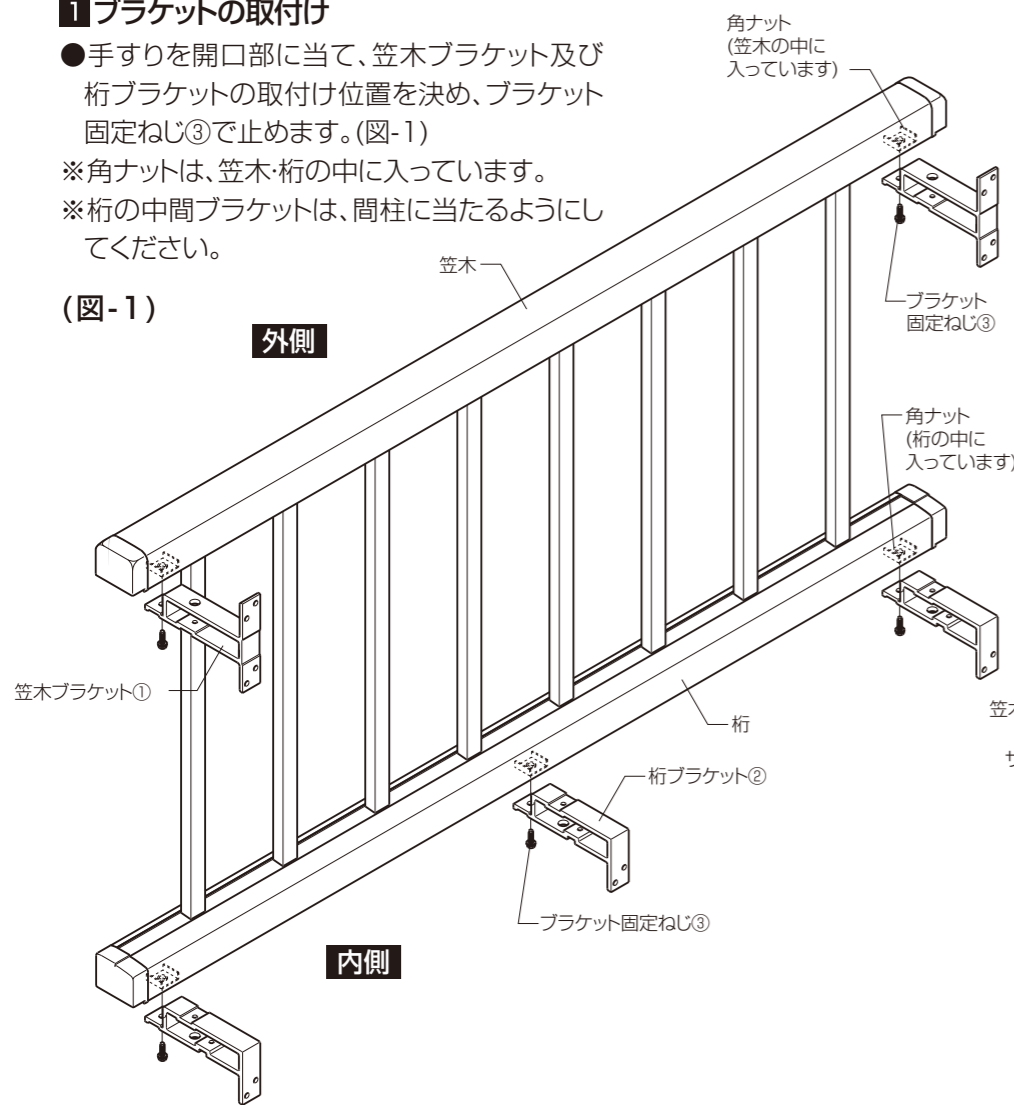
番号	①	②	③
部品図			
名称	笠木ブラケット	桁ブラケット	ブラケット固定ねじ
入数	2個	3個	5本
番号	④	⑤	⑥
部品図			
名称	ブラケット取付けねじ	底小棧固定ねじ	サイドガード固定ねじ
入数	14本	3本	4本

■適用機種と部品箱の確認

1 ブラケットの取付け

- 手すりを開口部に当て、笠木ブラケット及び桁ブラケットの取付け位置を決め、ブラケット固定ねじ③で止めます。(図-1)
- ※角ナットは、笠木・桁の中に入っています。
- ※桁の中間ブラケットは、間柱に当たるようにしてください。

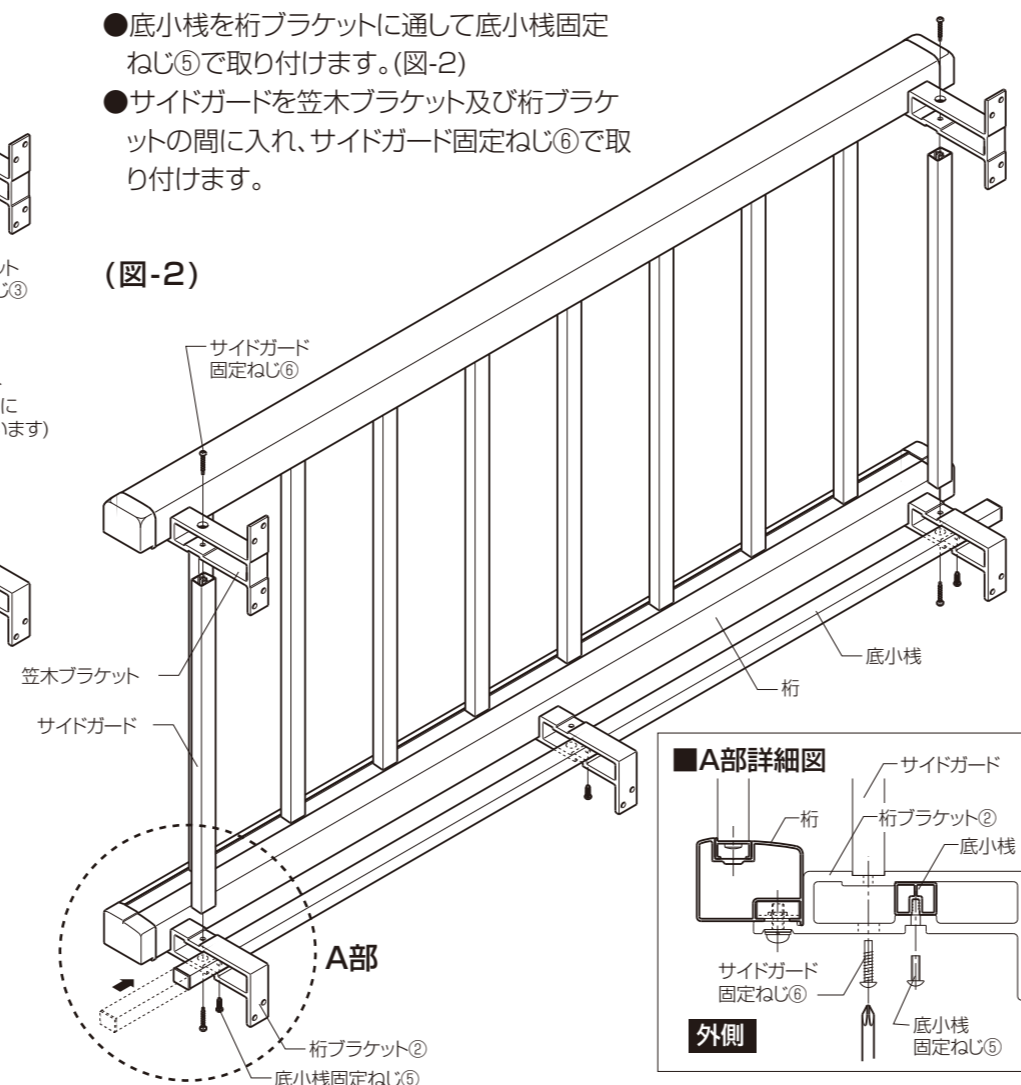
(図-1)



2 底小棧とサイドガードの取付け

- 底小棧を桁ブラケットに通して底小棧固定ねじ⑤で取り付けます。(図-2)
- サイドガードを笠木ブラケット及び桁ブラケットの間に入れ、サイドガード固定ねじ⑥で取り付けます。

(図-2)



3 手すり本体の取付け

- ブラケット固定ねじ④で躯体に確実に取り付けます。(図-3)

(図-3)

